

公開版 ／ JACET 65TH CONVENTION ／ SIG WORKSHOP

AIエージェントによる 教材づくり自働化体験

藤村 敬次 ／ 愛知工業大学 基礎教育センター（トヨタ市）

<https://fujimurakeiji.com/>

JACET2026 国際大会 ／ 2026年8月26日

立命館大学 大阪いばらきキャンパス ／ AIと大学英語教育研究会（SIG）

はじめに

今日の話は、ニンベンのある方です

動 自動化

仕組みのとおり、考えず動く

決めた手順を、そのまま実行する。
途中で止まらない。

働 自働化

人の考えをAIに持たせ、チェックする(リスク
が高ければ止める)

ニンベン=人の判断を、機械の側に。

今日お見せするのは、右です。

作業を渡しておかしければ ~~止まって、私に返ってくる~~ ダメ出して、何度でもつかえし、通ったものを次工程へ。

組 織

私の一人会社 ― 社員はぜんぶ AI

新入社員から育てて 3ヶ月目 / 6部署 / AI社員多数(業容拡大中) / 人間 1人

TEAM 1

研究

01 ██████████
02 ██████████
03 ██████████
04 ██████████
05 ██████████
06 ██████████

TEAM 2

学会・組織

01 ██████████
02 ██████████
03 ██████████
04 ██████████
05 ██████████

TEAM 3

個人

01 ██████████
02 ██████████
03 ██████████
04 ██████████

TEAM 4

大学業務

【機密】外部送信・
自動実行は禁止

TEAM 5

インフラ(ハブ)

01 ██████████
02 ██████████
03 ██████████
04 ██████████

TEAM 6

監 査

01 ██████████
02 ██████████
03 ██████████

きちんと流れているかを点検する

リスクが高いものは藤村へ報告し、一緒に改善する

日 次 ・ 週 次 ・ 月 次

組 織

新入社員から育てて 3ヶ月目 / 6部署 / AI社員多数(業容拡大中) / 人間 1人

自動化 人の作業を置き換える

TEAM 1

研究

01 ██████████

02 ██████████

03 ██████████

04 ██████████

05 ██████████

06 ██████████

TEAM 2

学会・組織

01 ██████████

02 ██████████

03 ██████████

04 ██████████

05 ██████████

TEAM 3

個人

01 ██████████

02 ██████████

03 ██████████

04 ██████████

TEAM 4

大学業務

【機密】外部送信・
自動実行は禁止

TEAM 5

インフラ(ハブ)

01 ██████████

02 ██████████

03 ██████████

04 ██████████

TEAM 6

監 査

01 ██████████

02 ██████████

03 ██████████

自動化

きちんと流れているかを点検する

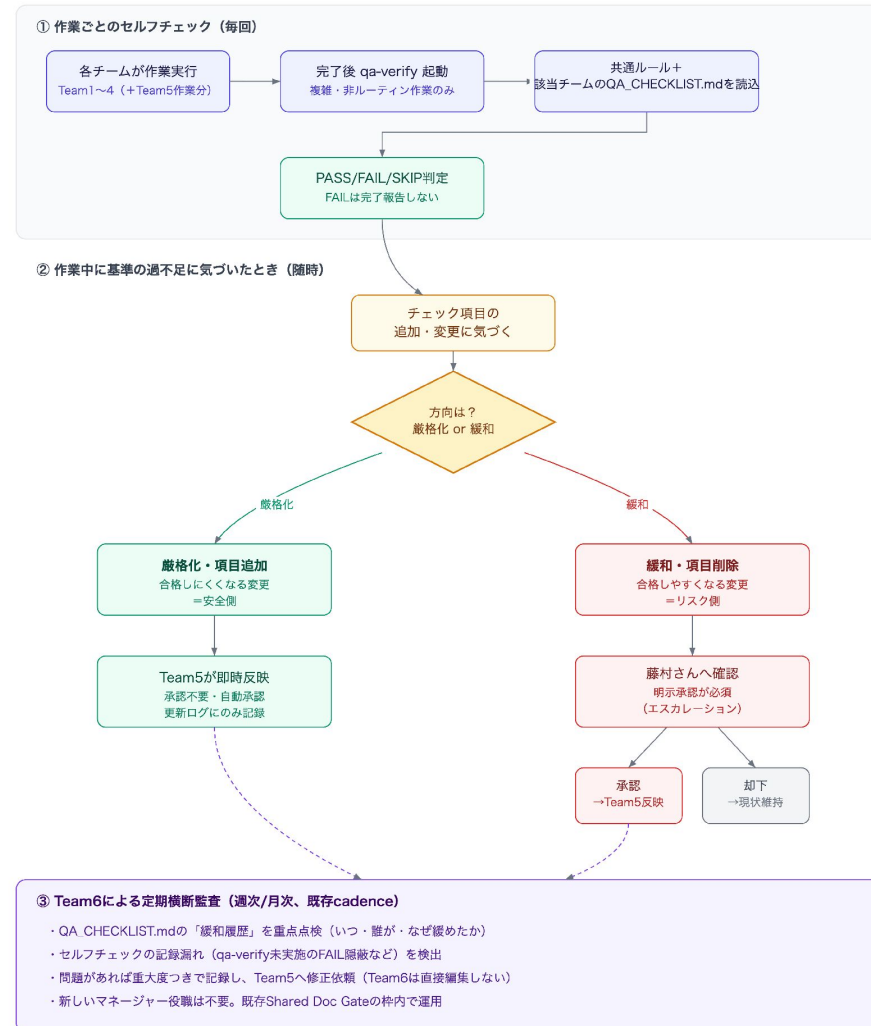
リスクが高いものは藤村へ報告し、一緒に改善する

日 次 ・ 週 次 ・ 月 次

検査(他エージェントとは違う基準で動かすエージェント) 運用フローの全体像

(人の「働」きをAIに学ばせて置き換える)

チーム別QAチェックリスト運用フロー



前 と 後

自動化したエージェントで何が変わるのか

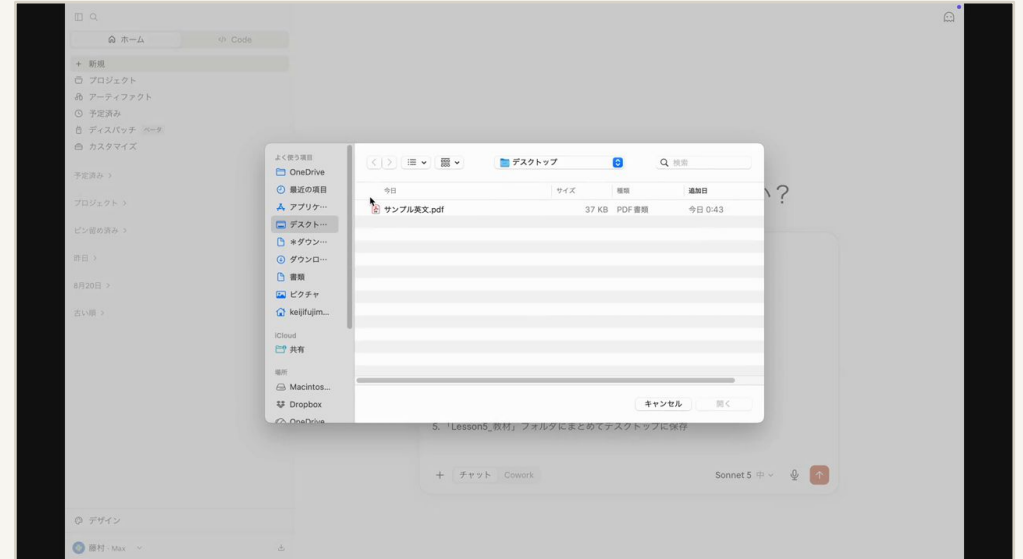
チャットは、答えを画面に返す。 エージェントは、ファイルを作って保存するまでやる。



チャットベース

60秒

レベル別3段階の教材を生成 + α (手作業)



エージェントベース

3分09秒

本文→ワークシート3種+回答解説+スライドを一括生成

~~60~90分~~ → 8~10分

 新しいチャット ライブラリ スケジュール プラグイン

... さらに表示

ピン留め >

プロジェクト >

チャット >

今日はどうしましたか？

+ ChatGPT に質問

最速 ▾

 画像を作成 記述または編集 ウェブを検索



ホーム

Code

+ 新規

プロジェクト

アーティファクト

予定済み

ディスパッチ ページ

カスタマイズ

予定済み >

プロジェクト >

ピン留め済み >

昨日 >

8月20日 >

古い順 >

よく使う項目

OneDrive

最近の項目

アプリケ...

デスクト...

*ダウン...

ダウンロ...

書類

ピクチャ

keijifujim...

iCloud

共有

場所

Macintos...

Dropbox

OneDrive



デスクトップ



検索

今日

サイズ

種類

追加日



サンプル英文.pdf

37 KB

PDF 書類

今日 0:43

キャンセル

開く

5. 「Lesson5_教材」フォルダにまとめてデスクトップに保存



チャット

Cowork

Sonnet 5 中



デザイン

藤村・Max



道 具

ただ、これを今日その場で設定するのは、
さすがに難しいので

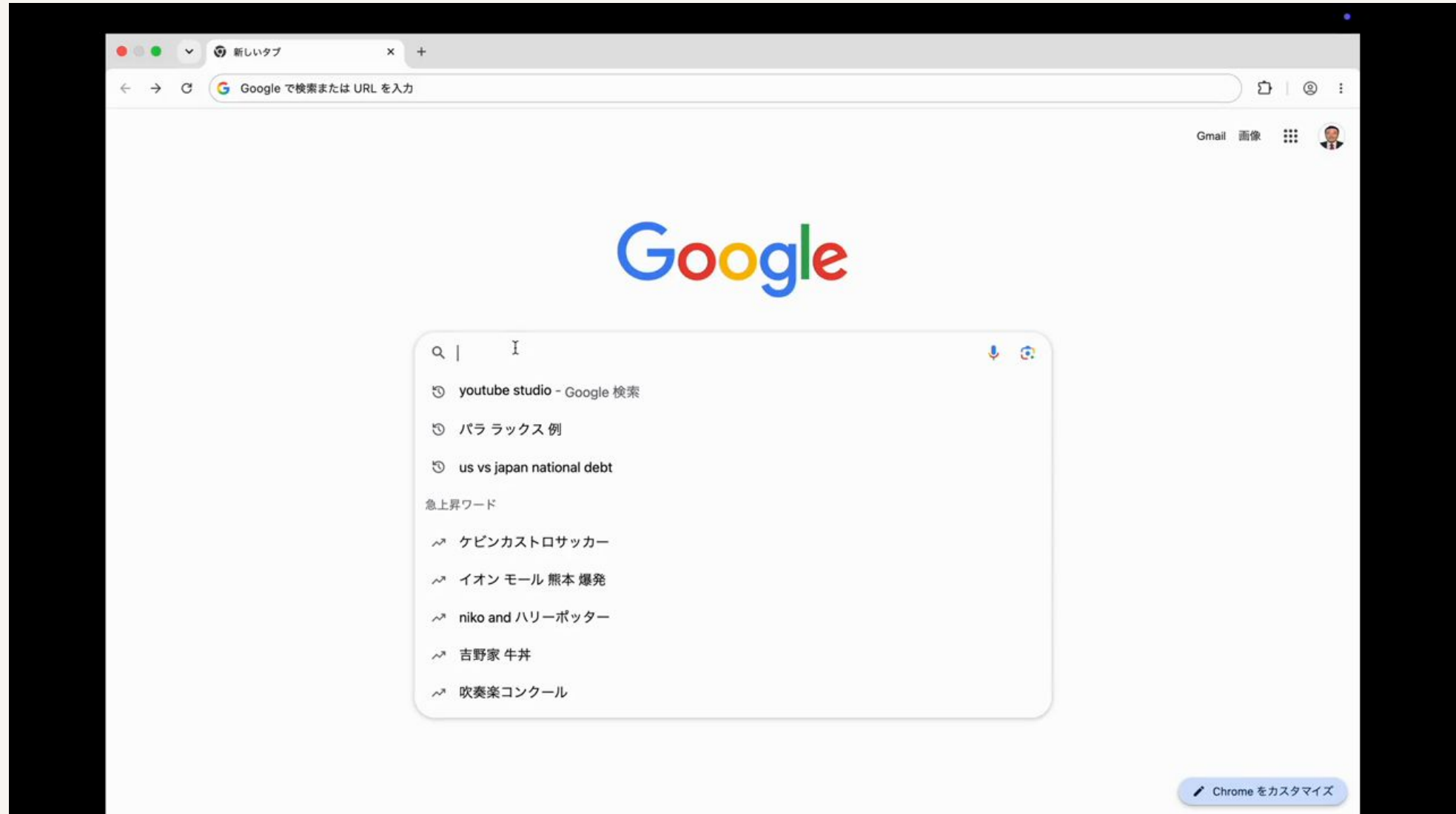
「Brisk」で エージェント体験

手軽に“**中堅社員(教育専門職)**”を体験できるツールです。Chrome拡張可・教員はとりあえず無料。やったことない方、一緒にやりましょう。

実 演 / 教材をつくる

アバウトな一文から、80分のレッスンプランへ

Brisk のクイックスタート。学校種は「大学」を指定している。 再生 3分25秒



実 演 ／ 書いた過程を見る

「本当に本人が書いたか」を確かめる

Brisk「文章の検査」。Google ドキュメントの編集履歴を再生する。 再生 40秒

実 演 / フィードバックを返す

Glow / Grow / Wondering で返す

Brisk「フィードバックを与える」。学年レベルは「大学」まで選べる。 再生 2分02秒

The screenshot shows a Google Docs interface on a web browser. The document title is 'レッスンプラン: CEFR A1からA2へのスピーキング強化'. The left sidebar shows a table of contents with items like '学習目標', '必要な教材', 'レッスンの流れ', etc. The main content area has the following structure:

CEFR A1→A2移行レッスンプラン:語彙拡張とスピーキング強化

学習目標

言語目標

- 日常生活の身近なトピック(趣味、日課、好み)について、より詳細に話すことができる
- 基本的な過去形と未来表現を使って、経験や予定を説明できる
- 20-30の新出語彙を理解し、会話で使用できる

技能目標

- スピーキング:簡単な質問に対して2-3文で応答できる
- リスニング:ゆっくりとした日常会話を理解できる
- リーディング:短い個人的なメッセージを読む
- ライティング:簡単な文をつなげて短いテキストを書ける

必要な教材

At the bottom right, there is a small floating window with a magnifying glass icon and the number '1', and a circular icon with a square inside.

ライティング指導の回し方

Google ドキュメントで書かせるだけで、準備はほぼ終わっている。あとは Brisk を2回押すだけ。

01 学生が Google ドライブにフォルダをつくる

02 「コピペは禁止、ばれるよ」と明示して指示する

ここが後で効いてくる

03 先生にフォルダをシェアさせた上で、Google ドキュメントで書かせる

個別フォルダが望ましい

04 フィードバック

エージェントが代行

05 フィードバックが入ったことを伝えて確認させる

06 編集履歴を再生して、貼り付け回数を見る

任意

07 必要ならリライトさせ、次の課題へつなげる

残るのは「提出物」ではなく、「書いた過程」。特別な仕掛けは要りません。

持ち帰り

明日から、どうするか

STEP 1

まず、これだけ

中堅社員(教育専門職)

Brisk を入れて、Google ドキュメントで書かせる。
ざっくり指示を入れて、押すだけ。



STEP 2

慣れてきたら

教材づくり以外の仕事も、
少しずつ**新入社員** エージェントに投げていく。

一度に全部やらなくていい。ひとつ動けば、次が見えます。

最後に質問

AIエージェント、みなさんの研究室に採用してみませんか？

01 世界トップレベルの頭脳

月給は、数千円～数万円

02 24時間365日、文句も言わず働く

有給も取らない

03 あらゆる言語を扱える

母語はコンピュータ言語。でも通訳・翻訳能力が劇的に上達中 例えば、あいまいな日本語もコンピュータ言語に翻訳可

04 無限に手直しに応じてくれる

何度やり直させても、嫌な顔をしない

ご清聴ありがとうございました

作業は渡せます。最後の責任は、こちらで持ちましょう。

藤村 敬次 Keiji Fujimura, Ph.D.

愛知工業大学 基礎教育センター(トヨタ市)

kfujimura@aitech.ac.jp / <https://fujimurakeiji.com/ja/docs>

共著 『AIと大学英語教育 —— 次のステージへ』(金星堂)

新刊 『AI時代のアクティブラーニング型英語教育』(金星堂・2027年3月刊行予定／仮題)

個人情報は大丈夫か

AIに何を入力してよいか。運用ルールは3つだけ。

01 実名を使わない

「学習者A」「学習者B」に置き換える

02 識別できる情報を入れない

成績・出欠・学籍番号・保護者や家庭の情報は入力しない

03 迷ったら、この基準で

これを紙で研究室・職員室の外に置けるか。置けないと思うなら入力しない

エージェントは手元のPC上で動くため、ファイルを丸ごと渡すのではなく、必要な操作をさせて結果だけ受け取る構成が取れます。

この大会、AIは 4件に1件

JACET65 プログラム(2026-08-08版)をタイトル文字列で集計。ワークショップ・研究発表・ポスター・企業シンポを区別せず計上。



日	全体	AI	比率
8/26(水)	40件	11件	28%
8/27(木)	115件	31件	27%
8/28(金)	41件	7件	17%

傾 向

01 エージェントの話は、ほとんど無い

49件中2件だけ。本発表と、大井先生の学習者向け会話練習。残りは「チャットとして使う」話

02 最大のテーマは評価とフィードバック

約15件(31%)。「使ってみた」から「どう評価するか」へ移っている

03 ライティングが突出

約13件(27%)。次いでスピーキング・発音が8件

04 企業セッションの 4割がAI

協賛企業シンポ18件中7件。ETS・桐原書店・ELSA・Prontest ほか

05 批判・規範の視点が 1割

剽窃、依存、責任、政策。「使えます」一色ではなくなった